

科目名	アパレル実習Ⅰ				
担当教員	小山 かおり	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	縫製の基本の技術を学び、スカート・パンツの縫製を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	縫製の基本の技術を学び、軽衣料のアイテム製作をきちんと習得する。制作アイテムのパターンメイキングを入れ、素材のチェックを入れることでリアルクローズのデザインも合わせて学ぶ。指示書は必ず先に書く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	服飾造形の基礎 パンツ・スカート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	年間スケジュール説明、用具名前付け、基礎縫い		服飾造形の基礎P32～43		
2	ミシン、アイロンの使い方、ミシン練習		服飾造形の基礎P149		
3	裏付きスカート講義、スカートパターン配布		パンツ・スカート教科書使用		
4	スカート製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P92～P93		
5	スカート製作（ダーツ縫い、ファスナー作り、裏作り）		P94		
6	スカート製作（ダーツ縫い、ファスナー作り、裏作り）		P94		
7	スカート製作（パンツ作り、脇入れ）		P94		
8	スカート製作（パンツ作り、脇入れ）		P94		
9	スカート製作（裏地合わせ、ベルト付け）		P96～100		
10	まとめ、提出		P96～100		
11	パンツ講義、パンツパターン配布		パンツ・スカート教科書使用		
12	パンツ制作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P155		
13	パンツ制作（パーツ作り：玉縁PK、脇PK）		P167		
14	パンツ制作（パーツ作り：玉縁PK、脇PK）		P167		
15	パンツ制作（ファスナー作り、ベルト作り）		P172		
16	パンツ制作（ファスナー作り、ベルト作り）		P172		
17	パンツ制作（脇入れ、股下縫い）		P169		
18	パンツ制作（ベルト付け、裾まつり）		P173		
19	パンツ制作（ベルト付け、裾まつり）		P173		
20	まとめ、提出		P173		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
スカート50%、パンツ50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にやる事。		
実務経験教員の経歴	縫製業にて11年間勤務				

科目名	アパレル実習Ⅰ				
担当教員	小山 かおり		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	120時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	シャツ、ジャケットの縫製を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	縫製の基本の技術を学び、軽衣料のアイテム製作をきちんと習得する。制作アイテムのパターンメイキングを入れ、素材のチェックを入れることでリアルクローズのデザインも合わせて学ぶ。指示書は必ず先を書く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	シャツ講義、シャツパターン配布		ブラウス・ワンピース教科書使用		
2	シャツ製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P 5 0		
3	シャツ製作（パーツ作り：衿、カフス、剣ボ口、前立て）		P 8 0～8 7		
4	シャツ製作（パーツ作り：衿、カフス、剣ボ口、前立て）		P 8 0～8 7		
5	シャツ製作（ヨーク付け、袖付け、脇入れ）		P 8 8～8 9		
6	シャツ製作（衿付け、カフス付け、裾始末、ホール）		P 9 0		
7	シャツ製作（衿付け、カフス付け、裾始末、ホール）		P 9 0		
8	まとめ、提出		P 9 0		
9	裏なしジャケット講義、ジャケットパターン配布		ジャケット・ベスト教科書使用		
10	ジャケット製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P 6 2、P 6 8～6 9		
11	ジャケット製作（マーキング、裁断、芯貼り、ロック）		P 6 2、P 6 8～6 9		
12	ジャケット製作（ダーツ縫い、パーツ作り）		P 7 4～7 5、P 1 0 0		
13	ジャケット製作（ダーツ縫い、パーツ作り）		P 7 4～7 5、P 1 0 0		
14	ジャケット製作（肩脇入れ、背中心接ぎ）		P 7 6		
15	ジャケット製作（衿付け、見返し作り）		P 7 7		
16	ジャケット製作（袖付け、ロック）		P 8 6		
17	ジャケット製作（袖付け、ロック）		P 8 6		
18	ジャケット製作（身頃合わせ）		P 8 1		
19	ジャケット製作（裾まつり、止めミシン）		P 1 0 3		
20	まとめ、提出		P 1 0 3		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
シャツ50%、ジャケット50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			製作物の仕上がりが不完全であればD評価とする場合もあるので、縫製・アイロンは丁寧にを行う事。		
実務経験教員の経歴	縫製業にて11年間勤務				

科目名	アパレルデザインⅠ				
担当教員	朔 奈保子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.デザイン画の基本である人体のバランス良く描ける 2.ヌードに着装した洋服をバランスよく描ける 3.ハンガーイラストをバランス良く描ける 4.素材表現着彩技法を学ぶ 5.デッサン力を身につける 6.デザインの発想力を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1. デザイン画をバランス良く(9等身)描ける技術やデザイン素材に合う着彩能力を身につける。 2. ハンガーイラスト技法の習得 3. デザイン発想力の習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	デザイン画				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入。ヌードバランス・顔の描き方など		教科書P12～P17 (様々なヌードバランス) 宿題ト レース5体		
2	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17 (様々なヌードバランス) 宿題画 用紙にヌード1体・目・口のプリント		
3	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17 (様々なヌードバランス) 宿題 手・脚の様々なポーズ		
4	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17 (様々なヌードバランス) 宿題画 用紙に水着・下着のデザイン2体 鉛筆描き		
5	着装練習① シャツ・パンツ・スカート		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
6	着装練習② ワンピース・ジャケット		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
7	着装練習③ コート・ブルゾンなど		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
8	ペン入れ・トレース		着装とペン入れについて解説		
9	着彩水彩① 水彩の基本		着装水彩着色方法について素材表現		
10	着彩水彩② 水彩での素材表現		着装水彩着色方法について素材表現		
11	着彩水彩③ 様々な素材表現		着装水彩着色方法について素材表現		
12	着彩パステル・色鉛筆		着装水彩着色方法について素材表現		
13	ハンガーイラスト1		製品図の書き方 スカート		
14	ハンガーイラスト2		製品図の書き方 パンツ		
15	ハンガーイラスト3		製品図の書き方 シャツ		
16	ハンガーイラスト4		製品図の書き方 ジャケット		
17	ハンガーイラスト5		製品図の書き方 コート		
18	ハンガーイラスト6		製品図の書き方 ワンピース		
19	ハンガーイラスト7		製品図の書き方 ブルゾン		
20	自由課題 2時間にて1体		夏休み課題。着装・着彩10枚		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	イラスト講師 14年				

科目名	アパレルデザインⅠ				
担当教員	朔 奈保子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.デザイン画の基本である人体のバランス良く描ける 2.ヌードに着装した洋服をバランスよく描ける 3.ハンガーイラストをバランス良く描ける 4.素材表現着彩技法を学ぶ 5.デッサン力を身につける 6.デザインの発想力を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1. デザイン画をバランス良く（9等身）描ける技術やデザイン素材に合う着彩能力を身につける。 2. ハンガーイラスト技法の習得 3. デザイン発想力の習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	デザイン画				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習 着 装 モードコピー		コレクションから模写しバランスよく描く		
2	子供服		子供のバランス		
3	メンズ		メンズのバランス		
4	ドレスのデザイン		ドレスデザイン		
5	カジュアルトレンドデザイン		トレンド授業とトレンドを使ったデザイン画 市場リサーチを宿題		
6	カラーージュの作り方		カラーージュマップを作る（色々な切り抜きなどを配置する）		
7	デザイン発想力		様々なデザインの展開を考えてデザインする。テスト		
8	自由課題		自分のブランドを考え企画書作り		
9	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
10	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
11	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
12	セコリデザイン画作成・中間チェック		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
13	トレンド授業 トrendを使ったデザイン画		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
14	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
15	ブランド企画書プレゼンテーション審査1		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
16	ブランド企画書プレゼンテーション審査2		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
17	ブランド企画書プレゼンテーション審査3		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
18	就職用デザイン画作成1		就職用デザイン画の描き方方法		
19	就職用デザイン画作成2		就職用デザイン画の描き方方法		
20	最終課題2時間で1枚 着 装 ・ 着 色		2時間自由課題制作。提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	イラスト講師 14年				

科目名	パターン I				
担当教員	関谷 友子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、パターン用語、道具の使用方法 2、各アイテムの基礎製図の習得 3、ノートファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	シャツブラウス、スカート、パンツ等の作図を縮尺で基本を習得し実物作図によるアイテムシルエットを確実に理解する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	服飾造形の基礎、ブラウス・ワンピース、スカート・パンツ、ダーツ移動プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	用語、道具説明、サイズ測定		服飾造形の基礎P32～36		
2	ダーツ移動作図		プリント配布、胸、肩、ウエスト、脇、後、前中心		
3	ダーツ移動作図		プリント配布、胸、肩、ウエスト、脇、後、前中心		
4	タイトスカート作図		パンツ・スカートP23～25		
5	タイトスカート作図		パンツ・スカートP23～25		
6	スカートバリエーション		パンツ・スカートP50～64		
7	スカートバリエーション		パンツ・スカートP50～64		
8	スカートバリエーション		パンツ・スカートP50～64		
9	パンツ作図		パンツ・スカートP136～139		
10	パンツ作図		パンツ・スカートP136～139		
11	パンツバリエーション		パンツ・スカートP140～153		
12	パンツバリエーション		パンツ・スカートP140～153		
13	シャツ作図		ブラウス・ワンピースP25～P28		
14	シャツ作図		ブラウス・ワンピースP25～P28		
15	シャツ作図		ブラウス・ワンピースP25～P28		
16	シャツバリエーション(衿)		ブラウス・ワンピースP29～35		
17	シャツバリエーション(衿)		ブラウス・ワンピースP29～35		
18	シャツバリエーション(袖)		ブラウス・ワンピースP39～43		
19	シャツバリエーション(袖)		ブラウス・ワンピースP39～43		
20	復習		ノートをまとめて提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ノート提出40%、試験60%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。		
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	パターン I				
担当教員	関谷 友子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ワンピース、ジャケット製図 2、各アイテムのバリエーション製図 3、ノートファイリングし提出する。				
学習目標 (到達目標)	ワンピース、ジャケット等の作図を縮尺で基本を習得し実物作図によるアイテムシルエットを確実に理解する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ブラウス・ワンピース、ジャケット・コート				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	前期復習	ジャケット作図			
2	ワンピース作図	ブラウス・ワンピースP139～143			
3	ワンピース作図	ブラウス・ワンピースP139～143			
4	ワンピースバリエーション	ブラウス・ワンピースP153～164			
5	ワンピースバリエーション	ブラウス・ワンピースP153～164			
6	ワンピースバリエーション	ブラウス・ワンピースP153～164			
7	囲み製図	プリント配布			
8	ジャケット作図	ジャケット・ベストP23～27			
9	ジャケット作図	ジャケット・ベストP23～27			
10	ジャケット作図	ジャケット・ベストP23～27			
11	ジャケット作図	ジャケット・ベストP23～27			
12	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
13	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
14	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
15	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
16	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
17	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
18	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
19	ジャケットバリエーション	ジャケット・ベストP23～27P39			
20	復習	ノートをまとめて提出			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ノート提出40%、試験60%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		作図方法が合っているだけでなく、綺麗な線、曲線、各アイテムをバランス良く引くようにする。			
実務経験教員の経歴	アパレル業でパタンナー歴7年、生産管理8年、CADオペレーター歴3年係わっていた。				

科目名	商品素材知識D				
担当教員	平 知香子	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ワークシートを利用した講義 2.ワークシートへ記入 3.教科書を利用したの予習・復習				
学習目標 (到達目標)	基本的な素材知識を習得し、デザイン発想に生かす				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	糸と布地の基礎・配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・素材生地柄のちがひ		ワークシート①/テキストP2		
2	糸・生地組織について		ワークシート②/テキストP16		
3	糸・生地組織について		演習：三大組織組みたて演習/テキストP17～23		
4	素材知識：天然素材		ワークシート③・④		
5	素材知識：化学素材・その他		ワークシート⑤・⑥		
6	生地知識：布帛		ワークシート⑦/テキストP30～33		
7	布帛生地種類①		ワークシート⑧/テキストP49～55		
8	布帛生地種類②		ワークシート⑧/テキストP56～64		
9	布帛生地種類③		ワークシート⑧/テキストP65～67		
10	布帛生地種類③		ワークシート⑧/テキストP68・69		
11	生地知識：ニット		ワークシート⑨/テキストP34		
12	生地知識：ニット		テキストP36～39		
13	生地知識：ニット		テキストP40～42		
14	生地知識：ニット		テキストP43・44		
15	試験範囲発表		試験対策授業		
16	試験対策		模擬テスト		
17	試験対策		模擬テスト解答・解説		
18	試験		試験		
19	試験解答・解説		返却試験問題		
20	まとめ		講評/その他の生地テキストP45～47		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験点数100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストは必ず毎時間準備すること 配布したワークシートは必ずファイリングすること		
実務経験教員の経歴	服飾での実務経験なし				

科目名	商品素材知識D				
担当教員	平 知香子	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ワークシートを利用した講義 2.ワークシートへ記入 3.教科書を利用したの予習・復習				
学習目標 (到達目標)	基本的な商品知識を習得し、デザイン発想に生かす				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	糸と布地の基礎・配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	芯地と裏地		スワッチ貼演習：テキストP66～71		
2	商品知識シャツ		ワークシート：シャツディティール		
3	商品知識シャツ		ワークシート：シャツ生地・デザインバリエーション		
4	商品知識スカート		ワークシート：スカートディティール・丈について		
5	商品知識パンツ		ワークシート：パンツディティール		
6	商品知識パンツ		ワークシート：パンツデザインバリエーション		
7	商品知識ジャケット・ブルゾン		ワークシート：アウターディティール		
8	商品知識ジャケット・ブルゾン		ワークシート：アウターデザインバリエーション		
9	商品知識コート		ワークシート：コートディティール		
10	商品知識コート		ワークシート：コートデザインバリエーション		
11	商品知識テリスト別		ワークシート：ミリタリー		
12	商品知識テリスト別		ワークシート：マリン		
13	商品知識テリスト別		ワークシート：エスニック		
14	商品知識テリスト別		ワークシート：音楽別商品		
15	試験範囲発表		試験対策授業		
16	試験対策		模擬テスト		
17	試験対策		模擬テスト解答・解説		
18	試験		試験		
19	試験解答・解説		返却試験問題		
20	まとめ		講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験点数100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストは必ず毎時間準備すること 配布したワークシートは必ずファイリングすること		
実務経験教員の経歴	服飾での実務経験なし				



科目名	イラストレーターD				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの基本的な操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け・自己紹介・インストール確認・機能紹介		P2～27		
2	ロゴマーク作成・文字ツール①		P88～96		
3	ロゴマーク作成・文字ツール②		P88～96		
4	画像の出力と保存・フォントについて①		P130～148		
5	画像の出力と保存・フォントについて②		P200～204		
6	クリッピングマスク①		P228～234		
7	クリッピングマスク②		P228～234		
8	柄の作り方①		P112～P117		
9	柄の作り方②		P112～P117		
10	ペンツールの使い方・トレース①		P76～88		
11	ペンツールの使い方・トレース②		P76～88		
12	ハンガーイラスト：Tシャツ①		P76～88		
13	ハンガーイラスト：Tシャツ②		P76～88		
14	ハンガーイラスト：Tシャツ③		P76～88		
15	オリジナルロゴ作成①		P184～190		
16	オリジナルロゴ作成②		P184～190		
17	オリジナルロゴ作成③		P184～190		
18	名刺の作り方①		P222～227		
19	名刺の作り方②		P222～227		
20	名刺の作り方③		P222～227		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーターD				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの応用操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの応用操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハンガーイラスト：シャツ①		P76～88		
2	ハンガーイラスト：シャツ②		P76～88		
3	ハンガーイラスト：シャツ③		P76～88		
4	ハンガーイラスト：パンツ①		P76～88		
5	ハンガーイラスト：パンツ②		P76～88		
6	ハンガーイラスト：パンツ③		P76～88		
7	ハンガーイラスト：スカート①		P76～88		
8	ハンガーイラスト：スカート②		P76～88		
9	ハンガーイラスト：スカート③		P76～88		
10	ジャケット・コート①		P76～88		
11	ジャケット・コート②		P76～88		
12	ジャケット・コート③		P76～88		
13	フォトショップについて①		オリジナルテキストにて実習		
14	フォトショップについて②		オリジナルテキストにて実習		
15	フォトショップについて③		オリジナルテキストにて実習		
16	レイヤーと選択範囲・マスクについて①		オリジナルテキストにて実習		
17	レイヤーと選択範囲・マスクについて②		オリジナルテキストにて実習		
18	レイヤーと選択範囲・マスクについて③		オリジナルテキストにて実習		
19	画像の合成①		オリジナルテキストにて実習		
20	画像の合成②		オリジナルテキストにて実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える	演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。			
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について(色相・明度・彩度)についての理解	テキストP24～P27・P30・P31			
3	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 心理四原色・24色相について	テキストP31～P35			
4	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 トーン表について。トーン分類の仕方を覚える。	テキストP31～P35・小テスト24色相			
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明	テキストP6～P8・小テストトーン表			
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説	テキストP9～P12			
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方	テキストP13・P15			
8	照明と色の見え方	テキストP16・P17			
9	混色について解説 加法混色・減法混色	テキストP18～P23			
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説	テキストP28～P29・P33～P35・P40～P41			
11	色の視覚効果・対比とは(色相対比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比)	テキストP48～P51			
12	補色対比・縁辺対比	テキストP52～P53 ワークシート			
13	色の視覚効果・同化とは(色相同化・明度同化・彩度同化)	テキストP54～P57			
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(同一・隣接・類似)	テキストP62～P69			
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(中差・対照・補色)	テキストP70～P75			
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色	テキストP76～P81			
17	セパレーション・アクセント・グラデーション	テキストP82～P87			
18	色彩心理・色の心理的効果について・色の知覚的効果について	テキストP42～P47			
19	色彩心理・色の心理的効果について・色の知覚的効果について	テキストP58～P61			
20	復習・まとめ	前期まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。			
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～・網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Excel過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	エクセルの基本	起動から終了P2～20 演習P21, 22			
2	データの編集	新規ブックから保存P24～54			
3	データの編集	演習P55, 56			
4	表の編集	罫線から行・列の挿入P58～82			
5	表の編集	演習P83, 84			
6	ブックの印刷	表示モードから印刷範囲P86～100 演習P101, 102			
7	グラフと図形	グラフと図形の作成P104～138			
8	グラフと図形	演習P139, 140			
9	ブックの利用と管理	ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153			
10	ブックの利用と管理	演習P154, 155			
11	関数	統計から日付P158～188			
12	関数	演習P189, 190			
13	データベース機能	リスト作成からテーブル機能P192～210			
14	データベース機能	演習P211, 212			
15	総合学習問題	テキストP214～217			
16	検定対策	過去模擬問題①			
17	検定対策	過去模擬問題②			
18	検定対策	過去模擬問題③			
19	検定対策	過去模擬問題④			
20	検定対策	過去模擬問題⑤			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること			
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	パンクムーブメント		パンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女性ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴		家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験			



科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	アパレル業界の産業構造を知ることにより、アパレル業界の具体的な企業、職種、取り組みについての知識を習得し、職業理解を深める。また、近年のアパレル業界についてトレンド事業についても調査する。				
学習目標 (到達目標)	アパレル業界の理解を深め、職業選択の参考にしてもらい、就職活動に生かす。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ファッションビジネス論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	セレクトショップの取り組み シップス		企業調査		
2	アパレル企業説明 オンワード樫山		企業調査		
3	アパレル企業説明 ワールド		企業動画、企業研究		
4	アパレル企業説明 T S Iホールディングス		企業動画、企業研究		
5	ファストファッションの特徴と問題点 H&M		レポート作成		
6	ファストファッションの特徴と問題点 ザラ		レポート作成		
7	ファストファッションの特徴と問題点 ユニクロ		プレゼン		
8	ファストファッションの特徴と問題点 しまむら		講義、動画、レポート作成		
9	アパレル業界の職業についてデザイナー・パタンナー		講義、動画、レポート作成		
10	アパレル業界の職業についてMD		企業調査		
11	アパレル業界の職業についてバイヤー		企業調査		
12	アパレル業界の職業についてマーチャンダイザー		企業調査		
13	アパレル業界の職業について営業		企業調査		
14	アパレル企業研究 ファストファッション		企業研究と企業紹介		
15	アパレル企業研究 ファストファッションの問題		企業研究と企業紹介		
16	アパレル企業研究 アパレルメーカーの仕組み		企業研究と企業紹介		
17	アパレル企業研究 セレクトショップ		企業研究と企業紹介		
18	アパレル企業研究 子供服企業		企業研究と企業紹介		
19	まとめレポート		課題企業研究レポート		
20	まとめレポート		課題企業研究レポート		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート60% プレゼン40%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション		マーケティング授業の方針やルールなど		
2	INTRODUCTION 自己紹介 マーケティングとは考え方 進め方		マーケティングの基本的な考え方		
3	戦略と戦術 STP		戦略と戦術について		
4	STPパワーポイントの使い方		パワーポイントの使い方		
5	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
6	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
7	ポジショニングプレゼン		ポジショニング課題のプレゼンテーション		
8	4Pについて		4Pについて		
9	4Pについて		4Pについて		
10	ブランドアイデンティティ		ブランドアイデンティティについて		
11	ファッションテイスト		ファッションのテイストについて		
12	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
13	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
14	企画書作成 ポジショニング		ブランド企画書作成		
15	企画書作成 スタイルマップ		ブランド企画書作成		
16	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
17	企画書作成 差別化		ブランド企画書作成		
18	企画書作成 ニーズとウォンツ		ブランド企画書作成		
19	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
20	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	CAD I				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS㈱のCREA COMPO II Pattern Magic II使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パタンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アパレルCADソフトインストール		実習(CADソフトインストール)手順説明と実行。		
2	イントロダクション		講義 ファッション企業におけるアパレルCADの使われ方。CAD Iの学習方法など解説する。		
3	課題1.直線をひく1		実習(白紙キャンバスに作成) 配布プリント 課題1のP1～P2		
4	課題1.直線をひく2		実習(白紙キャンバスに作成) 配布プリント 課題1のP3		
5	課題1.直線をひく2		実習(白紙キャンバスに作成) 配布プリント 課題1のP3		
6	課題2.ダーツを移動する1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP1～P2		
7	課題2.ダーツを移動する1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP1～P2		
8	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
9	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
10	課題2.ダーツを移動する2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題2のP3		
11	課題3.パーツ名を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P2		
12	課題3.パーツ名を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P2		
13	課題3.パーツ名を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP3～P4		
14	課題3.パーツ名を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP3～P4		
15	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
16	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
17	課題4.縫い代を付ける1		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP1～P3		
18	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
19	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
20	課題4.縫い代を付ける2		実習(基本ドレス原型から作成) 配布プリント 課題3のP4～P6		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パタンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	C A D I				
担当教員	関川 政春		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.東レACS㈱のCREA COMPO II Pattern Magic II使用によるアパレルパターン作成。 2.ファッション企業パタンメーカーとしてのアパレルCAD知識、技術の習得。 3.課題作成テキストのプリントを配布し、実習によりパターンを作成し提出する。				
学習目標 (到達目標)	1.パターンデータ(原型など)の入力ができる。 2.CADパターン展開で、デザインパターンを作成できる。 3.CAD縫い代付けで、工業パターンが作成できる。 4.CADデータを保存・検索できる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教師作成のCAD実習課題テキストをプリント配布する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	課題5.スタンドカラーを作る1		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP1～P3		
2	課題5.スタンドカラーを作る2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP4～P6		
3	課題5.スタンドカラーを作る2		実習(上身頃原型から作成) 配布プリント 課題5のP4～P6		
4	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る1		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP1～P2		
5	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る1		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP1～P2		
6	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る2		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP3～P4		
7	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る2		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP3～P4		
8	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
9	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
10	課題6.袖のカフス、短冊(ケンボロ)を作る3		実習(袖原型から作成) 配布プリント 課題6のP5～P6		
11	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける1		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1～P2		
12	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける1		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP1～P2		
13	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける2		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP3～P4		
14	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける2		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP3～P4		
15	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
16	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
17	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける3		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP5～P6		
18	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
19	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
20	課題7.スカート表裏に縫い代を付ける4		実習(表裏スカートデザインパターンから作成) 配布プリント 課題7のP7～P8		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実習課題100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			CAD処理メニュー知識が不足していると実習が理解できないことがある。 必須の課題は、全て提出すること。		
実務経験教員の経歴	パタンメーカー(洋服設計者)として、アパレル企業現場において13年間関わっていた。				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	意識づけ、働くとは。		なぜ働くのか？パワーポイントでアルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
2	ライフデザインナビ入力		ライフナビ入力を携帯で入力し、後日データでフィードバック		
3	企業が求めている人材とは。		アパレル業界企業が求めている人材について資料に基づき解説		
4	就職のしげジュールや企業研究方法		就職のスケジュールを解説。学生時代に何を取り組めば良いなどを解説		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明(宿題)プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方(訪問の方法)		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法(電話・メールでのマナー)		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座(男女別)		リクルースタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
3	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
4	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
5	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策6		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策7		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策8		コミュニケーション検定対策授業		
10	コミュニケーション検定対策9		コミュニケーション検定対策授業		
11	コミュニケーション検定対策10		コミュニケーション検定対策授業		
12	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
13	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
14	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴			オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた		

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	アメリカ・ロサンゼルスについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
5	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業①		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
6	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業②		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
7	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業③		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
8	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
9	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
10	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
11	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
12	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
13	韓国・ソウルについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
14	韓国ファッション論①		韓国のファッション歴史や特徴講義		
15	韓国ファッション論②		韓国のメイク歴史や特徴講義		
16	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
17	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
18	フランス・パリについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
19	フランスブランドの歴史①		フランスを代表するブランドからの講義		
20	フランスブランドの歴史②		フランスを代表するブランドからの講義		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート評価：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	イタリア・ミラノについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
5	イタリア・ミラノについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
6	イタリア・ミラノについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
7	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
8	モードファッションについて		フランス在住デザイナーからの講義		
9	海外研修旅行について①		研修内容講義		
10	海外研修旅行について②		研修内容講義		
11	海外研修旅行について③		パスポートについて講義		
12	海外研修旅行について④		クレジットカード・海外通貨について		
13	海外研修旅行について⑤		研修先企業について講義		
14	海外研修旅行について⑥		研修先企業について講義		
15	海外研修旅行について⑦		研修先企業について講義		
16	海外研修旅行について⑧		研修中注意事項①		
17	海外研修旅行について⑨		研修中注意事項②		
18	海外研修旅行について⑩		出発前の最終注意事項		
19	研修期間①		研修先での研修及び演習		
20	研修期間②		研修先での研修及び演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				